はじめに

　この講座では「事前課題小論文」の作成の際に注意したいポイントを学びます。
　事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いたりする大学があります。それは、大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を適切に評価するためです。例えば、次のような内容が求められます。

事例1

○ 上智大学　推薦入学試験（公募制）　レポート等特定課題

学科の指定する「レポート等特定課題」

1）下表にしたがって、学科の指定する「レポート等特定課題」を作成してください。
2）使用する用紙は各自で準備してください。
3）表題、氏名を1枚目の先頭に記入してください。

学　科	レポート等特定課題	文字数、その他
神	あなたがキリスト教を学びたいと希望するに至った過程、キリスト教からどのようなことを学びたいと思っているかを述べなさい。	A4 用紙　1600 字前後・横書 ワープロ原稿不可（自筆）
哲	なぜ私は哲学を学ぶのか。	A4 原稿用紙（400 字詰）10 枚以内 （縦書・横書自由） ワープロ原稿不可（自筆）
史	＜課題図書＞ 網野善彦『日本の歴史をよみなおす（全）』（ちくま学芸文庫・2005 年）、 羽田正『東インド会社とアジアの海』（講談社学術文庫・2017 年）を読む。	レポート提出は不要。面接の際に、課題図書を素材として質問をするので、どちらか 1 冊を熟読しておくこと。
国　文	日本の古典文学（漢文学を含む）・近代文学の中からそれぞれ1作品を読み、自ら考えたことを作品に即して具体的に述べなさい。	B4 縦書原稿用紙(400 字詰）それぞれ 5 枚以上 （合計 10 枚以上）・縦書 ワープロ原稿不可（自筆）
英　文	英米文学作品をひとつ読み、特に印象に残った箇所を取り上げて、その理由を述べなさい。	A4 用紙・横書・MS 明朝体 10.5 ポイント （横 40 字×縦 30 行）4000 字程度 ワープロ原稿（手書き不可）
ドイツ文	ドイツ語圏の文学、芸術、思想、歴史において、あなたが興味をもっている事柄を挙げて論じなさい。	A4 用紙 2000 字〜2400 字・横書 ワープロ原稿可
フランス文	＜課題図書＞ ジッド 作／山内義雄 訳　『狭き門』（新潮文庫）を読んでおくこと。	レポート提出は不要。学科ごとの個別テストの際に小論文が課されるので熟読のこと。
新　聞	最近の時事問題の中から関心をもったテーマを一つ選び、よく調べた上で、それに関する報道のあり方の点も含め、当該テーマについてのあなたの意見を述べなさい。 ※対象とした新聞記事、放送番組などについては、新聞紙名、局名・番組名、年月日等、参照した文献については、著者名、書名・論文名、出版社名、刊行年月等、その出典を明示すること。	A4 用紙 2000 字程度・横書 ワープロ原稿可
教　育	下記の指定図書のうち、いずれか1冊を選んで読み、本の内容の要約と内容に基づいて自ら考えたことを書きなさい。 ＜指定図書＞ アマルティア・セン、2006 年『人間の安全保障』 東郷えりか訳、集英社 木村元、2015 年『学校の戦後史』 岩波新書	A4 用紙 2000 字程度・横書 ワープロ原稿可
心　理	「自分にとって心理学を学ぶことの意味」を述べなさい。	A4 用紙1枚(1200 字程度、40 字×30 行)・横書 横書原稿用紙の場合 400 字詰 3 枚程度 ワープロ原稿可
社　会	あなたが関心のあるテーマについて書かれた社会学者の本（何冊でも可。ただし著者、書名等を明記すること）を読み、その内容に適宜言及しながら、あなた自身が社会学で何を、なぜ、どのように学びたいかについて述べなさい。	A4 用紙 2 枚程度・横書 ワープロ原稿（手書き不可）

事例2

○ 法政大学　文学部哲学科　グローバル体験公募推薦入学試験　日本語による小論文

【課題】あなた自身の海外体験をふまえて、異文化理解の難しさについて論じなさい。

事例3

○ 専修大学　経営学部ビジネスデザイン学科　公募制推薦入学試験　課題作文

以下を参照の上、黒のペンまたはボールペンで記述（自筆）してください。

　マネー・ボールは、資金不足等から有力選手が獲得できず、チームとしての戦力の低下に苦しみ、成績も低迷状態にあった米国のある球団を舞台に、野球界の常識を覆す手法である科学的なアプローチを採用して改革を成し遂げた実話に基づく小説です。
　皆さんが大学で学ぶ経営学の面白さや影響力を考えさせてくれる内容であるとともに、例えば部活や生徒会活動、さらに日々の学校生活に、マネー・ボールで描かれたような経営学的な考え方や手法を適用したならば、その活動や成果に影響を与えられるかもしれないという期待感も抱かせてくれる本であると思います。
　そこで本書を読み、①特に興味を覚えた出来事とその理由、②もし本書で描かれたような科学的手法（例えば、セイバーメトリクス、勝つための戦略、統計手法）を適用したならば、あなた自身の経験や活動などを踏まえて、学校生活にどのような改革・改善ができただろうか、という二つの設問について考え、できるだけ具体的に自分の感想や提案などを1,000字以上1,200字以内で記述して下さい。

『マネー・ボール〔完全版〕』
　マイケル・ルイス著　中山宥　訳
　早川ノンフィクション文庫　2013年4月

○大学とは研究機関であるという前提に立つことが大事です。

そもそも「大学とはどういうところなのか」をおさらいします。大学は研究機関です。研究とは、世の中でわかっていないことや解き明かされていないことを、学問の力で解き明かす場所です。そして、大学教員の多くは研究者ですから、既知と未知の境目（最先端、フロンティア）に立ち、自らが積み重ねてきた学術の力を信じて、既知の領域を広げようと日々邁進しています。そして、その成果を世に発信し、いつか世界がより良い方向に進むよう願いながら、研究活動を行う存在です。

○大学教員は、真剣に学問と向き合う学生を探しています。

総合型選抜・学校推薦型選抜における試験官は「研究者としての眼差しを持つ」大学教員です。ということは、出願書類もその眼差しを持って評価されます。「大学に入学して学問に真剣に向き合ってくれるのだろうか」「学問の習得を通して世界に貢献できる人なのだろうか」「最先端（フロンティア）に立つ勇気を持ってくれているのだろうか」「大学入学までに（難しいのは承知しているけれど）最先端をのぞこうとしてくれているのだろうか」。こうした思いを持ちながら、素敵な受験生を探そうとしています。

○ 受験生も、真剣に学問を究めたいと願いましょう。

受験生も、大学が研究の場であるという前提に立つなら「私もこういった領域で活動して、問いを深めてきた」「私の領域での学術の最先端はおそらくこういったものだろう」「このような研究活動をしてみたい」という意志を持ち、試験の場で両者がコミュニケーションを交わすわけです。

ですから、総合型選抜・学校推薦型選抜は、大学側としては研究者としてのイニシエーション（通過儀礼）であり、受験生側としては自分が望む未来像に即した研究活動ができるかを確認するアグリーメント（合意・契約）の意味を持ちます。

○ この講座の目標は、あなたが「大学教育を受けることができる人物であることを、事前課題小論文の答案で表現できるようにすること」です。

この講座では大学での学びの前提となる文章読解と論述のテクニックを学び、あなたの答案をブラッシュアップすることを目的としています。ただし、出題の形式は各大学で異なりますので、適宜視聴する講義を選んで、必要な技術を手に入れてください。

その際、さまざまな関連書籍や論文に積極的に触れてください。事前課題小論文で頻出するテーマでポピュラーなのは、志望学部・学科に関連したテーマです。課題に取り組みながら、文献や資料に触れておくと、学部・学科での学びの先取りができます。つまり、大学としては、課題に取り組む中で、大学教育を受けるためにふさわしい力を身につけてほしいという意図が隠されています。

○事前課題小論文を通して、大学進学に対する情熱を育てましょう。

課題に取り組む中で、さまざまな文献に触れながら、学部・学科での学びに興味や関心を抱くきっかけを得ることになります。最初のうちは「この学部・学科で学べることは何か」と疑問を抱くことが多いかもしれませんが、課題に取り組んでいくうちに色々な学術用語を理解したり、概念がわかったりして、少しずつあなたの学びの世界がクリアになっていきます。その過程で「こういったことが問題なのではないか」「こうしたことを解決するにはどんな学問が必要か」「最先端の研究とは何か」といったことが見えてくるかもしれません。そうした問いに触れながら、これから学んでいこうとする学問への情熱を育めるといいですね。

では、講座で一緒に未来をつくりにいきましょう。私も応援しています。

神﨑 史彦

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4
はじめに	1P				
Contents	5P				
本講座の受講の流れ	6P				
総合型選抜対策講座シリーズ受講の流れ	7P				
第1講 資料読解問題の対処法① 要約問題	9P-16P	要約とは何か	要約の基本① 具体と抽象	要約の基本② 接続語の活用	要約の基本③ 字数調整
第2講 資料読解問題の対処法② 読解問題	17P-26P	読解問題とは何か	読解問題の基本① 部分説明問題	読解問題の基本② 理由説明問題	読解問題の基本③ 字数調整
第3講 論述問題の対処法	27P-36P	論述問題とは何か	論述問題の基本① 資料読解	論述問題の基本② 問題発生メカニズムの探索	論述問題の基本③ 答案の作成
第4講 表記・表現	37P-48P	原稿用紙の使い方	表現・表記上の注意	段落の設定	引用の方法
おわりに	49P-50P				
巻末資料 小論文ルーブリック	51P-54P				

本講座の学習の流れ

第1講から第3講はこの講座のために作成したオリジナルの問題です。志望校からの課題（もしくは過去問）を分類すると、およそ3種類（要約、読解問題、論述問題）になると予想されます。課題（もしくは過去問）をもとに、どのパターンが課されているのかを把握し、視聴する講義を決めてください。したがって、全ての講座を見る必要はありません。

○第1講　資料読解問題のうち、要約が課されている場合
○第2講　資料読解問題のうち、読解問題が課されている場合
○第3講　論述問題が課されている場合

テキストにはあなたが考えた内容をまとめる欄がありますので、「授業でこんなテクニックを述べていたけれど、私ならどうするだろう」と思考を巡らせて、頭に浮かんだこと、調べたことを色々と書き記してみてください。それを材料にして他者と対話しながら、課題を形にすると効果的です。

また、巻末に小論文のルーブリックを掲載しています。これをもとに、あなたが作成した小論文やレポートがどの段階にあり、次の段階に進むためには何を修正・補正すればよいのかということを、修正したり他者と対話するときに活用してください。

加えて、第4講で小論文作成のときに表記・表現で気をつけたいことを解説します。講座を受講する前に、必ず視聴してください。

予習

POINT !
- この講座は予習不要です。

受講

POINT !
- 講義内でテクニックにかかわる解説を聞いたり、答案例を参考にしたりしながら、志望校の事前課題にどう向かえばいいのかを考えましょう。

受講後／復習

POINT !
- 受講した講義内容をもとに、志望校の事前課題に取り組んでください。
- 第3講（論述問題）については巻末のルーブリック（小論文）も活用してみましょう。縦軸は評価の観点、横軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示しています。評価基準の文章と自分の答案を照らし合わせ、まずは「このあたりはできている（できていない）」という評価を自分なりにしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどういうことをする必要があるのかを考え、答案を修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

復習後

POINT !
- 作成した答案やルーブリックでの評価をもとに、学校の先生方などの指導を受けてみてください。そのさい、どういうところが気になるのか、修正しようとしているのか、その理由はなぜか、ということを共有できるように準備しておきましょう。そのうえで、修正を施しましょう。

総合型選抜対策講座シリーズ　受講の流れ

試験形式に関わらず、受講推奨

総合型選抜対策講座＜スタートアップ編＞

総合型選抜とは何か、どんな事が求められるのかといった前提知識を学びたい時や、志望校や志望理由を決める時に迷っている場合におすすめです。

総合型選抜対策講座＜出願書類作成編＞

志望理由書、または自己アピール文を 書く際に必要な要素や考え方を学びたい時におすすめです。また、巻末資料に自己採点の参考になる評価基準も付いているので、書き上げた書類を見直す際にも参考にしてください。

各自の試験形式に合わせて、必要な講座を選択した上での受講を推奨

総合型選抜対策講座＜事前課題型小論文編＞

事前課題型小論文とは、事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いられたりする形式です。作成の際に注意したいポイントを学びたい時におすすめです。

総合型選抜対策講座＜面接編＞

面接を受ける際の準備や心構え、頻出質問例などを学びたい時や、模試面接の様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

総合型選抜対策講座＜プレゼンテーション編＞

プレゼンテーションを行う際の準備や心構え、表現方法例などを学びたい時や、模試プレゼンの様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

第1講

資料読解問題の対処法① 要約問題

チャプター1 要約とは何か
チャプター2 要約の基本①具体と抽象
チャプター3 要約の基本②接続語の活用
チャプター4 要約の基本③字数調整

問題を見てみよう

資料を200字以内で要約してください。

一番強いチームが優勝するとは限らない

3月19日から始まるはずだった選抜高校野球大会。紫紺の優勝旗を巡る熱い戦いを楽しみにしていた人には寂しい春となってしまいました。

以前から「甲子園で優勝するのは一番強いチームではない」という話がささやかれてきました。たしかに、優勝候補の筆頭に挙がっていたチームが、あえなく敗退するのを何度も目にしてきました。下馬評が高いチームが必ずしも勝つわけではないようです。

では、どんなチームが優勝旗を手にすることができるのでしょうか。それは「一戦一戦、強くなっていくチーム」だと言われています。甲子園という大舞台に来てから、「どれくらい成長するか？」が優勝の鍵を握っているというのです。

ビジネスでもまったく同じことが言えるのではないでしょうか。

新しくプロジェクトを立ち上げるに当たって、どんな精鋭メンバーを集めても、どれだけ周到に準備を重ねても、思うように仕事は進んではくれません。予期せぬ出来事が勃発したり、思わぬところで行き違いが生まれたり。「まさか！」「そんなばかな」と思うような困難の連続に、チームが瓦解しそうになることもあります。

そんな危機をみんなで乗り越えていく過程で、新たなアイデアや仕事のやり方が生まれ、チームの結束も高まっていきます。まさにピンチはチャンス。学習を通じて持続的に成長していくチームこそが、挑戦的な目標を達成することができるのです。

大阪商人の創意工夫の秘訣とは？

こんなふうに、高校野球ひとつとってみても、私たちビジネスパーソンが学ぶべき点がたくさんあります。これが今回紹介したい「アナロジー（類推）思考」です。

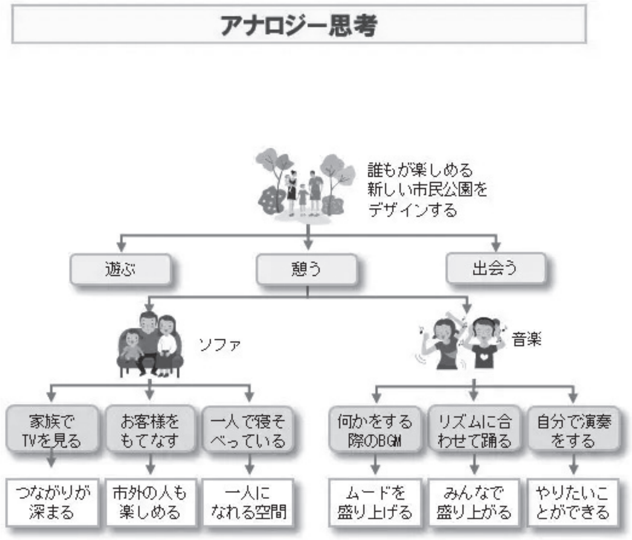
生徒メモ欄

教員記入欄

私たちは物事を考えるときに、何か手掛かりを求めようとします。まずは、ズバリ答えを教えてくれる直接的なヒントはないかと。
それで見つからなかったら、似たような事例や関連のある知識はないか、間接的に役立つヒントを探索し始めます。原理やメカニズムを応用しようと考えるのです。これがアナロジー思考です。
皆さんは、日本人の食文化を変えたとも言うべき、大阪で誕生した3つの料理（食品）をご存じでしょうか。いかにも大阪らしいコストパフォーマンスが売りの料理ばかり。たこ焼きやうどんではありませんよ。答えは、インスタントラーメン、回転寿司、しゃぶしゃぶです。
実は、3つにはもう一つ共通点があります。いずれもアナロジー思考から生まれたものなのです。インスタントラーメンの製法は天ぷらから、回転寿司はビール工場のベルトコンベヤーから、しゃぶしゃぶは仲居さんが布巾をお湯で洗っている様から着想を得たと言われています。誰しも、アイデアが行きづまったときに、ふと見聞きしたことからヒントがえられた経験があるはず。たとえ話（比喩）をされると理解が深まるのも、原理は同じです。アナロジーを活用することで、思考の幅を広げることができるのです。

アナロジー思考の基本ステップを身につける

極端な話、アイデアに心底困ったら、目に入るものすべてからアナロジーが得られます。ただ、それでは当たり外れが大きいので、もう少し仕事に役立つやり方を紹介しましょう。
はじめに検討したい課題を設定します。たとえば、「誰もが楽しめる新しい市民公園をデザインする」といったように。
次に、その課題を達成することで、「何をしたいのか？」「何が得られるのか？」を考え、目的や本質を明らかにします。公園で言えば、「遊ぶ」「憩う」「出会う」といったキーワードに分解すると、後で考えやすくなります。
ここからがいよいよアナロジーです。「同じような原理・機能・働き・性質を持つものはないか？」「何かにたとえられないか？」を考え、発想のヒントとして使える対象を探していきます。「憩うだったらリビングにあるソファも同じじゃないか」といった具合に。



生徒メモ欄

教員記入欄

アナロジーの対象が見つかったら、「そこで何が起こっているか？」「どんな働きをしているのか？」を考え、原理や構造を明らかにします。最後に、それらを、課題を考える上でのヒントにして、アイデアを具体化していくのです。

これが、発案者・中山正和の頭文字をつけた「NM法」です。アナロジー思考を生かした発想法として有名なもので、システマティックに考えられるのが大きな利点です。

アナロジーは遠すぎず、近すぎず

アナロジー思考の最大のポイントは、「どんなアナロジーを持ってくるか？」です。

どんな事柄の間にも、関連を見つけようと思ったら、できないわけではありません。ところが、あまりに遠いと発想が追いつかず、共通点がなかなか見つかりません。

たとえば、「組織マネジメント」と「ソメイヨシノの開花時期」で、役立つアナロジーを得ることができるでしょうか（できたらイノベーティブな発想が生まれるかも！）。かといって、「組織マネジメント」と「団体旅行」では、あまりに近くて思考の幅が広がりません。

「組織マネジメント」「ミツバチの行動特性」といったように、一見遠いようでも意外な共通点がある。それくらいがちょうどよい加減です。

頃合いのよいアナロジーを見つけるには、見えない関連性や共通項を見つけ出す力が求められます。「類推力」（アブダクション）と呼ばれています。それを高めるには、右脳（直観）で考える、時には頭を緩める、俯瞰（ふかん）的に物事を見る、のがよいとされています。

蛇足になるかもしれませんが、アナロジー思考は、あくまでも新たな発想を得るための思考法です。言い換えると、ひらめきを得るためのものであり、そこに論理性はまったくありません。

たとえば、「なぜそうするのか？」と問われ、「高校野球でもやっていますから」「善は急げと言うじゃありませんか」とアナロジーやたとえ話を持ち出しても説明になりません。アナロジーで得た発想を相手に認めてほしかったら、適切な根拠を別途用意しなければなりません。他の思考法も同じですが、使いどころを間違えないようにしましょう。

堀公俊『甲子園で勝つチームは毎試合成長　アナロジー思考の力』日経電子版　2020年4月1日
https://style.nikkei.com/article/DGXMZO57312100X20C20A3000000)

生徒メモ欄

教員記入欄

回答例を見てみよう

成長するチームが目標達成をするとき、アナロジー思考を活用して間接的にヒントを得る。その際、課題を設定し、課題達成の目的や本質を見出し、ヒントとなる対象から原理や構造を明らかにした上で、アイデアを具体化するという手続きを踏む。頃合いのよいアナロジーを見つけるにはアブダクションが求められるが、直観、頭を緩めること、物事を俯瞰することが良い。しかし、アナロジーには論理性がないので、適切な根拠が必要だ。

（200字）

生徒メモ欄

教員記入欄